

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
707	フランス文学演習 <French Literature>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
フランス文学	加藤 靖恵(Kato Yasue)		前期	木曜：2限
講義題目 Title	ジッド読解			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	毎回綿密な予習が必要である。			
授業の目的 Purpose	デュラスの『愛人』の精読を通して、フランスの文学や文化への知識と理解を深めるとともに、文学作品を鑑賞するためのフランス語力を習得する。 The purpose is to learn to read French in correct pronunciation, while the training Translate to correct Japanese, to analyze the works of Marguerite Duras, and deepen the knowledge of the French literature and French culture.			
授業の内容 授業の方法 Content	デュラスの『愛人』をフランス語で味わう。作家の他の作品との関連も示しながら、主要テーマについて、また彼女の独特な小説技法について概説する。ジャン・ジャック・アノー監督による同作品の映画も毎回鑑賞し、作品とその背景についての理解を深める。 第1回：オリエンテーション 第2回：デュラスの人と作品 第3回：フランス文学におけるデュラスの位置づけ（特にブルーストとヌーボロマン） 第4回：デュラスと視覚芸術（写真、映画） 第5回：デュラスの文体の特徴 第6回：デュラスと東洋 植民地問題 第7回：デュラスにおける家族のテーマ 第8回：母と娘の葛藤 第9回：女性性と老いの問題 第10回：セクシャルティの描写の特徴 第11回：音と光の文学的表象 第12回：水のテーマについて 第13回：『愛人』の構造 断片と反復 第14回：記憶、忘却、時と「流れるようなエクリチュール」 第15回：総括 レポート試験			
教科書 テキスト Textbooks	Marguerite Duras, L' Amant (Minuit)			
参考書 References	授業中指示する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	講読の演習なので、毎回十分に準備すること。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	平常点（授業の最後の小レポート）70% レポート試験30%			

連絡方法
Contact
information

ykato@lit.nagoya-u.ac.jp